

The survey of the exceptional children and pupils in the primary and secondary schools of Kanazawa 1

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-04-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Murakami, Kenzo, Uno, Ryuji, Okazaki, Yasuo メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00005217

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



金沢市の小、中学校における特殊児童、 生徒の調査成績について (I)

村 上 賢 三
卯 野 隆 二
岡 崎 康 夫

I 緒 言

特殊教育の振興をはかる為には、まづ第一に特殊児童、生徒の数を調査すると共に、その実態を明にすることが必要である。

この目的の為に、われわれは昭和35年2月金沢市における小学校児童36,839人(男18,853人,女17,986人)中学校生徒12,530人(男6,861人,女5,669人)につき特殊児童、生徒の問題事項別、学年別、男女別並びに地域別の調査を行った。

特殊児童、生徒の調査に当って第一に問題となるのは、如何なる種類及び程度のもを特殊児童、生徒とするかと言う点である。

文部省からは、昭和28年6月(文部省第303号)特殊児童、生徒の判別基準とその教育的措置が示されているが、この基準についても更に検討の要があるように思われる。然しわれわれはまづこの文部省の基準を参考にし、且他の人々の基準をも参考にし、実際現場の教育実施上支障をきたし、特別の方法による教育を必要とする者を選ぶ方針をとったのである。

文部省の判別基準は、

1. 盲者及び弱視者
2. ろう者及び難聴者
3. 性格異常者
4. 精神薄弱者
5. 言語障害者
6. 肢体不自由者
7. 病弱者及び身体虚弱者

であり、之等についてそれぞれの基準を示しているが、われわれは、

1. **学習態度異常者**(学業不振, 注意散漫, あき性, 口をきかぬ, 極度の内気, 無気力, 怠惰, 極度に腕白, 教師に反抗, ひねくれ, 放縦, 長欠)

2. **性格異常者**(乱暴行動, 極度の神経質, 全くの孤独, 不潔)
 3. **不良傾向者**(怠休, 盗癖, 冗費, 金品持出, 性的異常, 喫煙, 放浪, 嘘言)
 4. **精神薄弱者**
 5. **身体異常者**(病弱者, 身体虚弱者, 肢体不自由者, 難聴, 弱視, てんかん, 言語障害)
- 以上の五つに大きく分類した。

II 調査方法

調査方法は調査票により、予め調査の目的と調査方法を校長会においてよく説明したのち、次に記述する「記入上の注意」書により、各学級担任教師によって記入したものである。

記 入 上 の 注 意

- 一人の児童又は生徒で、二つ以上の問題事項を有する場合は、その中の著明なもの一つだけを挙げることに。
- 学習態度、性格異常、不良傾向などは、文字通りの事実であるが、一時的傾向や単に一、二度の事実にとらわれず、常時それぞれ問題事項が見られる場合に該当児として取扱うこと。その中性格異常とは性格のかたよりが著しく、そのために環境への適応が困難で、反社会的又は非社会的行動を示すものである。
- 学習態度のうち；
 1. 学業不振とは、常に学年の平均学力より極めて劣っていて、特別の補習又は指導を要するもの、但しI.Q. 75以上のもの。
 2. 怠惰とは学力に関せず、勉強ぎらい、学科に不忠実、宿題をしない、授業に不熱心なもの。
 3. 長欠とは病気によらず、家庭の都合により過去6ヶ月以内に15日以上連続欠席したものの。

○性格異常のうち、

(1) 乱暴行動

- a 身体的乱暴行動—相手の身体に向けられる直接的な行動で、たたく、なぐる、つきとばす、ひっぱる、ころばす、組みつく、かみつく、引かく、ける、物をぶつける、など。
- b 精神的乱暴行動—精神的な威嚇、又は攻撃を与えようとする行動—嘲笑する、罵倒する、邪魔する、そそのかす、下品なことをいう、仲間はずれにする、威嚇する、いばる、など。
- c 物質的乱暴—攻撃を相手の人に向けないでいわゆる「物にあたる」式の行動—物を投げる、持物をとる、物を使わせない、服などをよごすなど。

以上の行動のいずれかが著しく且つ常習的なもの。

- (2) 不潔とは身体及び衣服が常時極めて汚れていてこれを意に介さない、又は敢えて不潔なことを平気で行う、入浴ぎらい、散髪ぎらい。

○不良傾向のうち；

- (1) 怠休とは病気以外で過去6ヶ月以内に出席日数の15日以上休んだもの。
- (2) 性的異常とは、常識を脱した性的行為（いたずら、らくがき、又は性癖）をくり返すもの、又は性的過失。
- (3) 嘘言とは意図的、計画的な悪質なもので常習者。

○精神薄弱者とは I . Q . 75 以下のもの。

○身体異常のうち；

- (1) 病弱者とは、結核性疾患その他慢性疾患のため長期にわたり療養を必要とするが、特別の方法によって教育ができるもの。
- (2) 身体虚弱とは、先天的又は後天的原因により身体諸機能の異常を示し、疾病に対する抵抗力が低下し、或はこれらの徴候が起り易く長期にわたり健康児童、生徒と同等の教育を行うことによって反って健康を障害するおそれのある程度のものである。
- (3) 肢体不自由者とは、肢体（体幹と四肢）に不自由な処があり、そのままでは将来生業を営む上に支障を来すおそれがあるもの。
- (4) 難聴とは、学習上座席の考慮をしてもききにくいもの。
- (5) 弱視とは、両眼とも矯正視力0.3以下のもの。
- (6) 言語障害とは、発声或は発語が不完全か、又は全く不能なもの。

○その他の欄には、上記以外で問題と思われるものを

具体的に記入する。

以上の注意のもとに調査した結果は次の通りである

III 小学校における調査結果

各特殊児童の発見率では第1表より第12表に示す通りであるが、之等について若干の説明を加えれば、

1. 総特殊児童の発見率は第2表の通りであって、全学年、男女計では13.08%（総児童数36,839人中4,820人）である。次に男女別の比率は、男児は16.22%（18,853人中3,059人）であり、女児は9.79%（17,986人中1,761人）で、男児の方が高率を示している。又学年別では3,4,5学年が高率である。（地域別の観察はここでは省略する）
2. 学習態度異常児の発見率は第3表に示す通りであって、全学年、男女計では9.04%（36,839人中3,332人）であり、男児は11.23%（18,853人中2,117人）、女児は6.76%（17,986人中1,215人）で男児の方が高率を示している。又学年別では4,5学年がやや高率である。
3. 性格異常児の発見率は第4表に示す通りであって、全学年男女計では1.02%（36,839人中376人）であり、男児は、1.61%（18,853人中303人）、女児は、0.41%（17,986人中73人）で、これも男児が高率を示している。又学年別では大なる差異は認めがたい。
4. 不良傾向児の発見率は第5表に示す通りであって一般に低率である。即ち全学年男女計では0.29%（36,839人中107人）であり、男児は0.42%（18,853人中79人）、女児は0.16%（17,986人中28人）である。又学年別では3,4,5,6学年がやや高率を示している。
5. 身体異常児の発見率は第6表に示す通りであって、全学年男女計では1.42%（36,839人中523人）であり、男児は1.61%（18,853人中304人）、女児は1.22%（17,986人中219人）で男女差及び学年差は認めがたい。
6. 精神薄弱児の発見率は第7表に示す通りであって、全学年男女計では1.31%（36,839人中482人）であり、男児は1.36%（18,853人中256人）女児は1.26%（17,986人中226人）であって男女差は認めがたい。又学年別では1学年をのぞき、その差は認めがたい。

次に学習態度異常児の中で発見率の高いものは第8

表に示す通り，学業不振の2.55% (36,839人中111人) が最高であり，次は注意散漫の1.95% (36,839人中85人) であり，更に之につぐものはあき性の0.97% (36,839人中26人) である。その他の者は極めて少ない。

又学年別では学業不振は1, 2, 3学年よりも4, 5, 6学年にやや高率を示している。

次に性格異常児の中で発見率の高いものは不潔の0.50% (36,839人中186人) 次は乱暴行動の0.38% (36,839人中140人) であるが，全般的にその比率は低い。

又学年別には特別な傾向は認めがたい。

不良傾向児の中で発見率の高いものは嘘言の0.10% (36,839人中37人) ，次は盗癖の0.08% (36,839人中30人) 及び冗費，金品持出の0.06% (36,839人中21人) 等であるが，その比率は極めて低い。

身体異常児の中で発見率の高いものは弱視の0.46% (36,839人中169人) ，次は肢体不自由児の0.30% (36,839人中110人) である。

精神薄弱児の発見率には男女の間には大差は認め難いが，(男児1.36%，女児1.26%) 学年別では3, 4学年がやや高率を示している。

第1表 学年別，男女別調査児童数
(金沢市小学校45校) 昭和35年2月調査

男女別 学年別	男	女	計
第1学年	2,226	2,122	4,348
2	2,363	2,228	4,591
3	2,791	2,619	5,410
4	3,412	3,259	6,671
5	3,847	3,665	7,512
6	4,214	4,093	8,307
全学年	18,853	17,986	36,839

第2表 学年別，男女別特殊児童数
並びにその発見率 (百分比)

男女別 学年別	男	女	計
第1学年	261	176	437
2	360	194	554
3	489	241	730
4	610	365	975
5	733	422	1,155
6	606	363	969
全学年	3,059	1,761	4,820
第1学年	11.73	8.29	10.05
2	15.23	8.71	12.07
3	17.52	9.20	13.49
4	17.88	11.22	14.62
5	19.05	11.51	15.38
6	14.38	8.87	11.66
全学年	16.23	9.79	13.08

第3表 学年別，男女別学習態度異常児数
並びにその発見率 (百分比)

男女別 学年別	男	女	計
第1学年	180	129	309
2	271	139	410
3	307	145	452
4	430	251	681
5	528	307	835
6	401	244	645
全学年	2,117	1,215	3,332
第1学年	8.09	6.08	7.11
2	11.47	6.24	8.93
3	11.00	5.54	8.35
4	12.60	7.72	10.21
5	13.72	8.38	11.11
6	9.52	5.96	7.76
全学年	11.23	6.76	9.04

第4表 学年別，男女別性格異常児数並びに
その発見率（百分比）

学年別	男女別		計
	男	女	
第1学年	29	6	35
2	37	12	49
3	63	11	74
4	59	10	69
5	68	18	86
6	47	16	63
全学年	303	73	376
第1学年	1.30	0.28	0.80
2	1.57	0.54	1.09
3	2.26	0.42	1.37
4	1.73	0.31	1.03
5	1.77	0.49	1.14
6	1.12	0.39	0.76
全学年	1.61	0.41	1.02

第6表 学年別，男女別身体異常児数並びに
その発見率（百分比）

学年別	男女別		計
	男	女	
第1学年	33	30	63
2	25	16	41
3	46	36	82
4	46	44	90
5	70	43	113
6	84	50	134
全学年	304	219	523
第1学年	1.48	1.41	1.45
2	1.06	0.72	0.89
3	1.65	1.37	1.52
4	1.35	1.35	1.35
5	1.82	1.17	1.50
6	1.99	1.22	1.61
全学年	1.61	1.22	1.42

第5表 学年別，男女別不良傾向児数並びに
その発見率（百分比）

学年別	男女別		計
	男	女	
第1学年	6	0	6
2	6	2	8
3	15	6	21
4	16	5	21
5	15	7	22
6	21	8	29
全学年	79	28	107
第1学年	0.27	—	0.14
2	0.25	0.09	0.17
3	0.54	0.23	0.39
4	0.47	0.15	0.31
5	0.39	0.19	0.29
6	0.50	0.20	0.35
全学年	0.42	0.16	0.29

第7表 学年別，男女別精神薄弱児数並びに
その発見率（百分比）

学年別	男女別		計
	男	女	
第1学年	13	11	24
2	21	25	46
3	58	43	101
4	59	55	114
5	52	47	99
6	53	45	98
全学年	256	226	482
第1学年	0.58	0.52	0.55
2	0.89	1.12	1.00
3	2.08	1.64	1.87
4	1.73	1.69	1.71
5	1.35	1.28	1.32
6	1.26	1.10	1.18
全学年	1.36	1.26	1.31

第8表 学年別，男女別学習態度異常児の内容別発見率（百分比）

学 年	学習態度異常児 の 内 容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第 1 学 年	学 業 不 振	(2,226)	60	2.70	(2,122)	51	2.40	(4,348)	111	2.55
	注 意 散 慢	"	63	2.83	"	22	1.04	"	85	1.95
	あ き 性	"	17	0.76	"	9	0.42	"	26	0.60
	口 を き か ん	"	3	0.13	"	12	0.57	"	15	0.35
	極 度 に 内 気	"	5	0.22	"	21	0.99	"	26	0.60
	無 怠 気 力	"	6	0.27	"	8	0.38	"	14	0.32
	無 怠 情	"	12	0.54	"	4	0.19	"	16	0.37
	極 度 に 腕 白	"	5	0.22	"	0	—	"	5	0.12
	教 師 に 反 抗	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
	ひ ね く れ	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
放 長 縦 欠	"	3	0.13	"	0	—	"	3	0.07	
	"	4	0.18	"	2	0.09	"	6	0.14	
	計	2,226	180	8.09	2,122	129	6.09	4,348	309	7.10
第 2 学 年	学 業 不 振	(2,363)	76	3.21	(2,228)	46	2.06	(4,591)	122	2.66
	注 意 散 慢	"	86	3.64	"	38	1.70	"	124	2.70
	あ き 性	"	30	1.27	"	9	0.40	"	39	0.85
	口 を き か ん	"	7	0.30	"	9	0.40	"	16	0.35
	極 度 に 内 気	"	10	0.42	"	13	0.58	"	23	0.50
	無 怠 気 力	"	14	0.59	"	11	0.49	"	25	0.54
	無 怠 情	"	23	0.97	"	11	0.49	"	34	0.74
	極 度 に 腕 白	"	11	0.47	"	0	—	"	11	0.24
	教 師 に 反 抗	"	2	0.08	"	0	—	"	2	0.04
	ひ ね く れ	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
放 長 縦 欠	"	8	0.34	"	1	0.04	"	9	0.20	
	"	3	0.13	"	1	0.04	"	4	0.09	
	計	2,363	271	11.44	2,228	139	6.24	4,591	410	8.94
第 3 学 年	学 業 不 振	(2,791)	78	2.80	(2,619)	55	2.10	(5,410)	133	2.46
	注 意 散 慢	"	97	3.48	"	36	1.37	"	133	2.46
	あ き 性	"	33	1.18	"	8	0.31	"	41	0.76
	口 を き か ん	"	4	0.14	"	8	0.31	"	12	0.22
	極 度 に 内 気	"	6	0.22	"	10	0.38	"	16	0.30
	無 怠 気 力	"	16	0.57	"	9	0.34	"	25	0.46
	無 怠 情	"	47	1.68	"	12	0.46	"	59	1.09
	極 度 に 腕 白	"	10	0.36	"	1	0.04	"	11	0.20
	教 師 に 反 抗	"	2	0.07	"	2	0.08	"	4	0.07
	ひ ね く れ	"	6	0.22	"	2	0.08	"	8	0.15
放 長 縦 欠	"	4	0.14	"	1	0.04	"	5	0.09	
	"	4	0.14	"	1	0.04	"	5	0.09	
	計	2,791	307	11.00	2,619	145	5.55	5,410	452	8.35

学 年	学習態度異常児 の 内 容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第 4 学 年	学 業 不 振	(3,412)	137	4.02	(3,259)	107	3.30	(6,671)	244	3.66
	注 意 散 慢	"	131	3.84	"	58	1.78	"	189	2.84
	あ き 性	"	37	1.09	"	18	0.55	"	55	0.82
	口 を き か ん	"	7	0.21	"	15	0.46	"	22	0.33
	極 度 に 内 気	"	6	0.18	"	17	0.52	"	23	0.34
	無 気 力	"	20	0.59	"	15	0.46	"	35	0.52
	無 怠 惰	"	59	1.76	"	14	0.43	"	73	1.09
	極 度 に 腕 白	"	15	0.44	"	0	—	"	15	0.22
	教 師 に 反 抗	"	2	0.06	"	0	—	"	2	0.03
	ひ ね く れ	"	9	0.26	"	3	0.09	"	12	0.18
放 棄 続 欠	"	7	0.21	"	3	0.09	"	10	0.15	
長 欠	"	0	—	"	1	0.03	"	1	0.01	
	計	3,412	430	12.60	3,259	251	7.70	6,671	681	10.24
第 5 学 年	学 業 不 振	(3,847)	161	4.18	(3,665)	132	3.60	(7,512)	293	3.90
	注 意 散 慢	"	137	3.56	"	51	1.39	"	188	2.50
	あ き 性	"	67	1.74	"	29	0.79	"	96	1.28
	口 を き か ん	"	10	0.26	"	15	0.41	"	25	0.33
	極 度 に 内 気	"	14	0.36	"	28	0.76	"	42	0.56
	無 気 力	"	24	0.62	"	25	0.68	"	49	0.65
	無 怠 惰	"	75	1.95	"	22	0.60	"	97	1.29
	極 度 に 腕 白	"	19	0.49	"	0	—	"	19	0.25
	教 師 に 反 抗	"	4	0.10	"	0	—	"	4	0.05
	ひ ね く れ	"	9	0.23	"	2	0.05	"	11	0.15
放 棄 続 欠	"	6	0.16	"	2	0.05	"	8	0.11	
長 欠	"	2	0.05	"	1	0.03	"	3	0.04	
	計	3,847	528	13.70	3,665	307	8.36	7,512	835	11.10
第 6 学 年	学 業 不 振	(4,214)	146	3.46	(4,093)	120	2.44	(8,307)	266	3.20
	注 意 散 慢	"	109	2.58	"	32	0.78	"	141	1.70
	あ き 性	"	48	1.14	"	16	0.39	"	64	0.77
	口 を き か ん	"	2	0.05	"	10	0.24	"	12	0.14
	極 度 に 内 気	"	6	0.14	"	17	0.42	"	23	0.28
	無 気 力	"	13	0.31	"	22	0.54	"	35	0.42
	無 怠 惰	"	50	1.19	"	14	0.34	"	64	0.77
	極 度 に 腕 白	"	7	0.17	"	1	0.02	"	8	0.10
	教 師 に 反 抗	"	6	0.14	"	2	0.05	"	8	0.10
	ひ ね く れ	"	6	0.14	"	6	0.15	"	12	0.14
放 棄 続 欠	"	6	0.14	"	0	—	"	6	0.07	
長 欠	"	2	0.05	"	4	0.10	"	6	0.07	
	計	4,214	401	9.51	4,093	244	5.96	8,307	645	7.75

学年	学習態度異常児の内容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
全学年	学業不振	(18,853)	658	3.49	(17,986)	511	2.84	(36,839)	1,169	3.18
	注意散漫	"	623	3.30	"	237	1.32	"	860	2.33
	あき性	"	232	1.23	"	89	0.50	"	321	0.97
	口をきかぬ	"	33	0.18	"	69	0.38	"	102	0.28
	極度に内気	"	47	0.25	"	106	0.59	"	153	0.42
	無気力	"	93	0.49	"	89	0.50	"	182	0.49
	怠惰	"	266	1.41	"	77	0.43	"	343	0.93
	極度に腕白	"	67	0.36	"	4	0.02	"	71	0.19
	教師に反抗	"	17	0.09	"	4	0.02	"	21	0.06
	ひねくれ	"	32	0.17	"	13	0.07	"	45	0.12
	放縦	"	35	0.19	"	7	0.04	"	42	0.11
	長欠	"	15	0.08	"	10	0.06	"	25	0.07
	計		18,853	2,118	11.22	17,986	1,216	6.78	36,839	3,334

第9表 学年別，男女別性格異常時の内容別発見率（百分比）

学年	性格異常児の内容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第1学年	乱暴行動	(2,226)	12	0.54	(2,122)	0	—	(4,348)	12	0.28
	極度の神経質	"	3	0.13	"	1	0.05	"	4	0.09
	全くの孤独	"	2	0.09	"	3	0.14	"	5	0.12
	不潔	"	12	0.54	"	2	0.09	"	14	0.32
	計	2,226	29	1.30	2,122	6	0.28	4,348	35	0.80
第2学年	乱暴行動	(2,363)	18	0.76	(2,228)	1	0.04	(4,591)	19	0.41
	極度の神経質	"	0	—	"	1	0.04	"	1	0.02
	全くの孤独	"	2	0.08	"	2	0.09	"	4	0.09
	不潔	"	17	0.72	"	8	0.36	"	25	0.54
	計	2,363	37	1.57	2,228	12	0.54	4,591	49	1.02
第3学年	乱暴行動	(2,791)	32	1.15	(2,619)	0	—	(5,410)	32	0.59
	極度の神経質	"	1	0.04	"	2	0.08	"	3	0.06
	全くの孤独	"	2	0.07	"	1	0.04	"	3	0.06
	不潔	"	28	1.03	"	8	0.31	"	36	0.61
	計	2,791	63	2.26	2,619	11	0.42	5,410	74	1.37
第4学年	乱暴行動	(3,412)	26	0.76	(3,259)	0	—	(6,671)	26	0.39
	極度の神経質	"	2	0.06	"	0	—	"	2	0.03
	全くの孤独	"	4	0.12	"	0	—	"	4	0.06
	不潔	"	27	0.79	"	10	0.31	"	37	0.55
	計	3,412	59	1.76	3,259	10	0.31	6,671	69	1.03

学年	性格異常児 の内容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第5学年	乱暴行動	(3,847)	29	0.75	(3,665)	2	0.05	(7,512)	31	0.41
	極度の神経質	"	3	0.08	"	0	—	"	3	0.04
	全くの孤独	"	4	0.10	"	4	0.11	"	8	0.11
	不潔	"	32	0.83	"	12	0.33	"	44	0.58
	計	3,847	68	1.77	3,665	18	0.49	7,512	86	1.15
第6学年	乱暴行動	(4,214)	19	0.45	(4,093)	1	0.02	(8,307)	20	0.24
	極度の神経質	"	1	0.02	"	6	0.15	"	7	0.08
	全くの孤独	"	3	0.07	"	3	0.07	"	6	0.07
	不潔	"	24	0.57	"	6	0.15	"	30	0.36
	計	4,214	47	1.12	4,093	16	0.39	8,307	63	0.76
全学年	乱暴行動	(18,853)	136	0.72	(17,986)	4	0.02	(36,839)	140	0.38
	極度の神経質	"	10	0.05	"	10	0.06	"	20	0.06
	全くの孤独	"	17	0.09	"	13	0.07	"	30	0.09
	不潔	"	140	0.74	"	46	0.26	"	186	0.50
	計	18,853	303	1.61	17,986	73	0.41	36,839	376	1.02

第10表 学年別，男女別不良傾向児の内容別の発見率（百分比）

学年	不良傾向児 の内容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第1学年	怠休	(2,226)	1	0.04	(2,122)	0	—	(4,348)	1	0.02
	盗癖	"	2	0.09	"	0	—	"	2	0.05
	冗費・金品持出	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
	性的異常	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	嘘言	"	2	0.09	"	0	—	"	2	0.02
計	2,226	6	0.27	2,122	0	—	4,348	6	0.14	
第2学年	怠休	(2,363)	0	—	(2,228)	0	—	(4,591)	0	—
	盗癖	"	1	0.04	"	1	0.04	"	2	0.04
	冗費・金品持出	"	2	0.08	"	0	—	"	2	0.04
	性的異常	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
	嘘言	"	2	0.08	"	1	0.04	"	3	0.07
計	2,363	6	0.25	2,228	2	0.09	4,591	8	0.17	

学年	不良傾向児の内容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第3学年	怠休	(2,791)	2	0.07	(2,619)	1	0.04	(5,410)	3	0.06
	盗癖	"	4	0.14	"	1	0.04	"	5	0.09
	冗費・金品持出	"	2	0.07	"	1	0.04	"	3	0.06
	性的異常	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	1	0.04	"	0	—	"	1	0.02
	嘘言	"	5	0.18	"	3	0.11	"	8	0.15
計		2,791	15	0.54	2,619	6	0.23	5,410	21	0.39
第4学年	怠休	(3,412)	0	—	(3,259)	0	—	(6,671)	0	—
	盗癖	"	5	0.15	"	1	0.03	"	6	0.09
	冗費・金品持出	"	5	0.15	"	1	0.03	"	6	0.09
	性的異常	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	1	0.03	"	0	—	"	1	0.01
	嘘言	"	5	0.15	"	3	0.09	"	8	0.12
計		3,412	16	0.47	3,259	5	0.15	6,671	21	0.31
第5学年	怠休	(3,847)	1	0.03	(3,665)	2	0.05	(7,512)	3	0.04
	盗癖	"	6	0.16	"	1	0.03	"	7	0.09
	冗費・金品持出	"	3	0.08	"	1	0.03	"	4	0.05
	性的異常	"	1	0.03	"	0	—	"	1	0.01
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	嘘言	"	4	0.10	"	3	0.08	"	7	0.09
計		3,847	15	0.39	3,665	7	0.19	7,512	22	0.29
第6学年	怠休	(4,214)	3	0.07	(4,093)	2	0.05	(8,307)	5	0.06
	盗癖	"	4	0.09	"	4	0.10	"	8	0.10
	冗費・金品持出	"	4	0.09	"	1	0.02	"	5	0.06
	性的異常	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	2	0.05	"	0	—	"	2	0.02
	嘘言	"	8	0.19	"	1	0.02	"	9	0.11
計		4,214	21	0.50	4,093	8	0.20	8,307	29	0.35
全年	怠休	(18,853)	7	0.04	(17,986)	5	0.03	(36,839)	12	0.03
	盗癖	"	22	0.12	"	8	0.04	"	30	0.08
	冗費・金品持出	"	17	0.09	"	4	0.02	"	21	0.06
	性的異常	"	2	0.01	"	0	—	"	2	0.01
	喫煙	"	0	—	"	0	—	"	0	—
	放浪	"	5	0.03	"	0	—	"	5	0.01
	嘘言	"	26	0.14	"	11	0.06	"	37	0.10
計		18,853	79	0.42	17,986	28	0.15	36,839	107	0.29

第11表 学年別、男女別身体異常児の内容別発見率（百分比）

学年	身体異常児の内容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第1学年	病弱者	(2,226)	3	0.13	(2,122)	2	0.09	(4,348)	5	0.12
	身体虚弱者	"	5	0.22	"	2	0.09	"	7	0.16
	肢体不自由者	"	6	0.27	"	8	0.38	"	14	0.32
	難聴	"	2	0.09	"	5	0.24	"	7	0.16
	弱視	"	4	0.18	"	8	0.38	"	12	0.28
	てんかん	"	1	0.04	"	1	0.05	"	2	0.05
	言語障害	"	12	0.54	"	4	0.19	"	16	0.37
計	2,226	33	1.48	2,122	30	1.41	4,348	63	1.45	
第2学年	病弱者	(2,363)	0	—	(2,228)	2	0.09	(4,591)	2	0.04
	身体虚弱者	"	1	0.04	"	1	0.04	"	2	0.04
	肢体不自由者	"	8	0.34	"	3	0.13	"	11	0.24
	難聴	"	1	0.04	"	1	0.04	"	2	0.04
	弱視	"	8	0.34	"	6	0.27	"	14	0.30
	てんかん	"	0	—	"	1	0.04	"	1	0.02
	言語障害	"	7	0.30	"	2	0.09	"	9	0.20
計	2,363	25	1.06	2,228	16	0.72	4,591	41	0.89	
第3学年	病弱者	(2,791)	5	0.18	(2,619)	4	0.15	(5,410)	9	0.17
	身体虚弱者	"	6	0.22	"	4	0.15	"	10	0.19
	肢体不自由者	"	5	0.18	"	10	0.38	"	15	0.28
	難聴	"	3	0.11	"	8	0.31	"	11	0.20
	弱視	"	10	0.36	"	10	0.38	"	20	0.37
	てんかん	"	2	0.07	"	0	—	"	2	0.04
	言語障害	"	15	0.54	"	0	—	"	15	0.28
計	2,791	46	1.65	2,619	36	1.37	5,410	82	1.52	
第4学年	病弱者	(3,412)	2	0.06	(3,259)	3	0.09	(6,671)	5	0.07
	身体虚弱者	"	9	0.26	"	2	0.06	"	11	0.16
	肢体不自由者	"	4	0.12	"	8	0.25	"	12	0.18
	難聴	"	4	0.12	"	6	0.18	"	10	0.15
	弱視	"	17	0.50	"	24	0.74	"	41	0.61
	てんかん	"	2	0.06	"	0	—	"	2	0.03
	言語障害	"	8	0.23	"	1	0.03	"	9	0.13
計	3,412	46	1.35	3,259	44	1.35	6,671	90	1.35	
第5学年	病弱者	(3,847)	8	0.21	(3,665)	9	0.25	(7,512)	17	0.23
	身体虚弱者	"	5	0.13	"	5	0.14	"	10	0.13
	肢体不自由者	"	22	0.57	"	8	0.22	"	30	0.40
	難聴	"	7	0.18	"	3	0.08	"	10	0.13
	弱視	"	18	0.47	"	17	0.46	"	35	0.47
	てんかん	"	1	0.03	"	0	—	"	1	0.01
	言語障害	"	9	0.23	"	1	0.03	"	10	0.13
計	3,847	70	1.82	3,665	43	1.17	7,512	113	1.50	

学年	身体異常児 の 内 容	男			女			計		
		総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比	総児童数	問題児数	百分比
第 6 学 年	病弱者	(4,214)	9	0.21	(4,093)	6	0.15	(8,307)	15	0.18
	身体虚弱者	"	3	0.07	"	5	0.12	"	8	0.10
	肢体不自由者	"	15	0.36	"	13	0.32	"	28	0.34
	難聴	"	13	0.31	"	5	0.12	"	18	0.22
	弱視	"	30	0.71	"	17	0.42	"	47	0.56
	てんかん	"	1	0.02	"	1	0.02	"	2	0.02
	言語障害	"	13	0.31	"	3	0.06	"	16	0.19
	計	4,214	84	1.99	4,093	50	1.22	8,307	134	1.61
全 学 年	病弱者	(18,853)	27	0.14	(17,986)	26	0.14	(36,839)	53	0.14
	身体虚弱者	"	29	0.15	"	19	0.11	"	48	0.13
	肢体不自由者	"	60	0.32	"	50	0.28	"	110	0.30
	難聴	"	30	0.16	"	28	0.16	"	58	0.16
	弱視	"	87	0.46	"	82	0.46	"	169	0.46
	てんかん	"	7	0.04	"	3	0.02	"	10	0.03
	言語障害	"	64	0.34	"	11	0.06	"	75	0.20
	計	18,853	304	1.62	17,986	219	1.22	36,839	523	1.42

第12表 学年別，男女別精神薄弱児並びに発見率（百分比）

学年	男			女			計		
	総児童数	精神薄弱児数	百分比	総児童数	精神薄弱児数	百分比	総児童数	精神薄弱児数	百分比
1	2,226	13	0.58	2,122	11	0.52	4,348	24	0.55
2	2,363	21	0.89	2,228	25	1.12	4,591	46	1.00
3	2,791	58	2.08	2,619	43	1.64	5,410	101	1.87
4	3,412	59	1.73	3,259	55	1.69	6,671	114	1.71
5	3,847	52	1.35	3,665	47	1.28	7,512	99	1.32
6	4,214	53	1.26	4,093	45	1.10	8,307	98	1.18
計	18,853	256	6.36	17,986	226	1.26	36,839	482	1.31